

報告事項テ

平成24年文部科学省大臣表彰について

平成24年度の各種文部科学大臣表彰について別紙1～4のとおり報告します。

平成24年11月20日

鳥取県教育委員会教育長

横 濱 純 一

平成 24 年度社会教育功労者表彰について

家庭・地域教育課

1 表彰の趣旨

地域における社会教育活動を推進するため、多年にわたり社会教育の振興に功績のあった者及び全国的見地から多年にわたり社会教育関係の団体活動に精励し社会教育の振興に功労のあった者等に対し、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰する。

2 本県の受賞者

氏 名：鹿島 一郎（かしま いちろう：66歳） 米子市 役 職：日本ボーイスカウト鳥取連盟理事 功績分野：青少年教育
【功績】 昭和49年から現在までの長きにわたり、日本ボーイスカウト鳥取連盟において、物心両面に渡り、青少年の健全育成に長年尽力した。 (詳細) 昭和49年、ボーイスカウト米子第8団で活動を始め、その後、スカウト活動の広がりをめざして、米子第8団から分団した米子第11団の設立に尽力し、昭和52年には同副団委員長として今日に至るまで団の運営と活動を支えた。 また、指導者としても常にボーイスカウト運動の理念を強く心に受け止め、日々成長するボーイスカウトたちに深い愛情をもって接し、団の若い指導者はもとより保護者からも厚い信頼を得ながら活動を行った。
氏 名：横木 永子（よこぎ えいこ：70歳） 三朝町 役 職：三朝町社会教育委員会委員長 功績分野：社会教育計画
【功績】 平成9年度から現在まで、三朝町社会教育委員として携わり、三朝町教育委員会が行った各種の答申等に関わり、社会教育の推進に大きく貢献した。 (詳細) 平成9年度から三朝町社会教育委員として、副委員長・委員長を歴任し、三朝町教育委員会の諮問に対し、必要な調査・分析を行い、各種の答申を中心となってまとめあげた。町教育の中期計画である生涯学習の町づくり推進計画「生き活きプラン21」（平成10年3月）、「三朝町教育ビジョン」（平成18年3月）、「時代の変化に対応したわが町の社会教育の推進方策について」（平成22年12月答申）の策定等に関わり、社会教育の推進に大きく貢献した。

3 表彰式

- (1) 日時 平成24年11月13日（火）午後1時30分から
- (2) 会場 文部科学省3階 講堂（東京都千代田区霞が関3-2-2）

第 6 5 回優良公民館文部科学大臣表彰について

家庭・地域教育課

1 表彰の趣旨

公民館のうち、特に事業内容・方法等に工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献しているものを優良公民館として文部科学大臣が表彰し、今後の公民館活動の充実・振興に資する。

2 被表彰公民館及び公民館の概要、特色ある事業

被表彰公民館名	公民館の概要及び特色ある事業
倉吉市 明倫公民館	<p>地区の小学校で踊り継がれていた「明倫音頭」「新明倫音頭」が20年以上踊られていなかったが、小学校100周年の準備の際に、古い譜面が見つかった。この譜面をもとに、子どもから高齢者までの異世代、学校、家庭、地域が一体となって「明倫音頭」を復活させた。音源の再生を地区のお父さんバンド、演奏を小中学生、よさこいバージョンの振り付けを高校生、はっぴの作成を高齢者というようにたくさんの世代、人たちの関わりの中で事業を進め、世代間交流と共に地域の活性化につなげることができた。</p>
鳥取市立 西郷地区公民館	<p>西郷地区は、湯谷温泉や三滝溪等の自然及び歴史文化遺産に恵まれ、三つの窯元や俳人田中寒桜の生誕地として知られる農山村地域である。「西郷まるごと博物館 ギャラリーあっちこっち」では、約80人のスタッフが協力して、地域の特色を活かした棚田の散策や山菜料理づくり、住民の作品展などを行っており、住民が地域の暮らしや自然、文化の価値を再認識し、協力してよりよい地域をつくろうとする意欲と気運が高まりつつあり、地域づくりに向けた新たな提案も出されるようになった。</p>

3 表彰式の期日及び場所

- ・日 時 平成24年11月13日（火）
- ・会 場 文部科学省 3階 講堂
(東京都千代田区霞が関3-2-2)

平成 24 年度優良 P T A 文部科学大臣表彰について

家庭・地域教育課

1 表彰の趣旨

本来の目的・性格に照らし、優秀な実績を上げている P T A を表彰し、P T A の健全な育成、発展に資することを目的とする。

2 被表彰 P T A 及び P T A の特色ある取組

被表彰団体名	P T A の特色ある取組
鳥取大学附属特別支援学校懇話会	<ul style="list-style-type: none"> ○児童生徒の放課後支援活動に関わる取組が今年で 10 年目を迎え、この取組が卒業後の余暇活動につながっている。 ・保護者運営の下、地域、大学生、院生が指導に関わり週 5 教室を開催（和太鼓・サッカー・ダンス（2 教室）・卓球）し、校内外での交流活動など活動の成果を発表する機会を設けている。
明道育英会 （米子市立明道小学校）	<ul style="list-style-type: none"> ○研修会や地域交流を通じて「親だから」「地域力」を高め、子どもが安心安全に育つ環境づくりに取組んでいる・ ・子どもの人権を守ることを主眼に多様な研修会に取組んでいる。 ・ストップマーク描きや農業体験、スキー教室などの児童の活動に地域や保護者が関わる多種の機会があり、特色ある取組をしている。 ・ヘルメット全員着用やこどもかけこみ 110 番に協力できる家庭を開拓するなど、安全に向けての取組を活発に行っている。
倉吉市立上灘小学校 P T A	<ul style="list-style-type: none"> ○保護者、学校、地域が連携し、基本的な生活習慣の定着等による学力推進事業に取り組んでいる。 ・「食育」を中心にし、基本的な生活習慣の定着へ取り組んでいる。（講演会、プラークテストや歯磨きカレンダーの実施） ・「すくすくのびのびカレンダー」を作成し、地域に対する意識付けや啓発活動へと広げている。

3 表彰式の期日及び場所

- ・日 時 平成 24 年 1 月 22 日（木） 13 時 30 分から
- ・会 場 ホテルニューオータニ
（東京都千代田区紀尾井町 4-1）

平成24年度優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣表彰 について

家庭・地域教育課

1 表彰の趣旨

未来を担う子どもたちを健やかに育むために、学校、家庭、地域が連携協力し、社会全体の教育力の向上に向けた取組の一層の推進を図ることを目的に、地域全体で学校や子どもたちの教育活動を支援する活動（「地域による学校支援活動」）のうち、その内容が特に優れ、他の模範と認められるものに対し、その功績をたたえ文部科学大臣が表彰を行う。

2 被表彰活動及び概要

活 動 名	概 要
会見小学校地域協働 学校運営協議会 （南部町）	学校運営協議会の下に設けられた6つの部会のうち、G T A（祖父母と先生の会）では、先人の知恵や技を教わるとともに、このことが地域の活性化にもつながっている。また、そろばん、ミシンの学習など地域の支援を受けることで、担任だけの一斉指導では難しい実技についても、一人ひとりに寄り添った学習ができています。
伯耆町学校支援地域本部 （伯耆町）	地域コーディネーターのほか、各学校に学校支援コーディネーターを配置し、校区を越えた組織的な支援を行っている。年度末には報告会を実施し、事業成果の発信に加えて、講演会やワークショップを企画、多くの地域住民の関心を得る工夫をしている。また、関係者へのアンケートにより成果と課題を確認し、次年度の活動に活かしている。

3 表彰式の期日及び場所

- ・ 日 時 平成24年12月3日（月）
- ・ 場 所 文部科学省東館3階講堂
（東京都千代田区霞が関3-2-2）